



田殿丹生神社

〒六四三〇八五一 和歌山県有田郡有田川町出三三五番地

TEL・FAX 〇七三七(五二) 二三一七



一、祭神

丹生都比売命(丹生大明神)

天照大神の御妹神

大名草彦命(高野大明神)

丹生大明神の御子神



一、境内社

夏瀬神社 (天照大神)

一有田川畔一

弁財天神社 (弁財天尊)

一有田川畔一

白山神社 (菟理姫命)

一白山山頂一

春日神社一瑞垣内の東側一

山口 東山神社(國常立命)

大谷 水神社 (國常立命・日根彥命)

水神社(同象女神)

大賀畑 里神社(猿田彦命)

船坂 妙見神社(國常立命・大物主命)

長谷 八幡神社(大鷦鷯尊)

田角 天神社(菅原道真朝臣・姥明神)

常立神社(國常立命)

八王子神社(八柱御子神)

井口 春日神社(天兒屋根命)

吉備神社一瑞垣内の西側一

井口 吉備神社(吉備大神)

許刀比羅神社(大穴牟遲命)

出 妙見神社(國常立命)

上中島 王子神社(不詳)

長田 許刀比羅神社(大穴牟遲命)

國主神社(大國主命)

尾中 水神社(同象女神)

吉備名方濱神社(天照大神)

常立神社(國常立命)

八幡神社(祭田別命)

角 桶森神社(不詳)

桶森神社(倉稻魂命)

一、由緒

当社の主祭神である丹生都比売命は、この神地、夏瀬の森へ御神幸になり、ここを中心として水銀の開発にお力を尽くされ、農業を創始なされました。神功皇后や応神天皇は深く大神を御尊崇なされ、この時代に(約千六百年前)当神社の社殿が立派に建立せられました。その頃の鎮守の杜(夏瀬の森)は、今よりはるか南の方に拡がり、有田川もずっと南の方を流れておりましたが、平安朝の大洪水のために森は削られ、夏瀬の森は北部の一角のみとなり、社殿も現在の白山の麓にうつされました。境内に奉安している御神木は、その頃の大洪水で土中深く埋もれた楠で、河川工事の際現われた由緒深いものです。また当神社は、今から約九百年前、真言の僧玄蔵上人が神社の東の神谷に七堂伽藍、二十一坊を建て、神谷山最勝寺と名づけ両部神道によって奉仕されました。その後一時衰えかけたのを明恵上人によって再興せられましたが、豊臣氏の頃(約四百年前)遂に最勝寺は破却せられ、それ以後は再び唯一神道によって奉仕されています。

以前、高野大明神が井口にてお祀りされていた時代があったため、丹生社を上野の宮、高野社を下野の宮と申しますが、現在では高野大明神は本殿(上の宮)にお祀り申しています。秋の例大祭には、上の宮と下の宮(御旅所)との間の御渡りの祭祀(町指定文化財)が行なわれます。

田殿の里の氏神様は、産業発展(農業、工業、商業)の神、開運の神、縁結の神として、人々に広く、深く信仰されています。

一、祭典

- 一月 一日 元旦祭
- 一月 三日 家内安全祈願祭
- 一月 七日 角 稲荷神社 冬祭
- 一月 十五日 粥占 古神札焚上式
- 一月 成人奉告祭(成人式)
- 一月 十七日 上中島 王子神社 冬祭
- 一月 十八日 長田 國主神社 冬祭
- 四月 第一日曜 大賀畑 里神社 春祭
- 四月 第三日曜 千葉山 山神社 例祭
- 四月 十一日 春祭
- 四月 十一日 戦没者慰霊 招魂祭



夏瀬の森の楠

(県指定文化財・天然記念物)
有田川の畔、夏瀬神社の裏にそびえている楠の喬木は、足利義満公が金閣寺を建立する際に、天井の一枚板に使うために切り倒した切り株から生えた、ひこげえだと言われております。



だんじり祭 雑子・三面神楽

(町指定文化財)
毎年十月十一日の秋祭りには、三面獅子舞と六地区のだんじり舞と太鼓の祭雑子が奉納されます。



- 七月 十日 夏祭宵宮 花火大会
- 七月 十一日 夏祭
- 七月 第一日曜 角 稲荷神社 夏祭
- 七月 十七日 上中島 王子神社 夏祭
- 七月 十八日 船坂 白山神社 夏祭
- 七月 十八日 長田 國主神社 夏祭
- 七月 十九日 大谷 豊玉神社 夏祭
- 七月 三十日 出 妙見神社 夏祭
- 七月 三十日 尾中 常立神社 夏祭
- 七月 三十日 田角 東山神社 夏祭
- 七月 三十一日 輪廻大祓式(穿の輪神事)
- 九月 十一日 田角 天神社 例祭
- 十月 十一日 例大祭(秋祭)
- 十一月 十五日 七五三詣
- 十二月 一日 鎮火祭(火の用心祈禱)
- 十二月 十一日 冬祭
- 毎月 一日 月並祭

一、個人のご祈祷

初宮詣

男子は三十一日目、女子は三十二日目に初めて氏神様にお詣りし、心身の健康を祈念して、氏子の仲間入りをします。日数にこだわらず、気候のいい時期にお詣りされても結構です。

七五三詣

七才(女兒)、五才(男児)、三才(男児、女児)が対象となります。満でも数え歳でも結構です。

成人奉告祭

成人式当日、神社にて奉告祭と記念撮影を行います

厄年祓

(数え歳)
男性 二五、四二、六一
女性 一九、三三、三七
前後に前厄後厄があります。

長寿お祝

還暦六一、古稀七〇、喜寿七七、傘寿八十、米寿八八、卒寿九十、白寿九九才

安産祈願

妊娠五ヶ月目に行います。腹帯をご持参下さい。

神棚清祓

新しい神棚を整えた際、神札を納める前に清め祓いをいたします。新しい神棚をご持参ください。古い神棚は神社でご祈祷の上焚き上げます。

地鎮祭

現場の土を少量ご持参いただき、神社で行う様式もあります。

安全祈願

工事や、作業の安全祈願。神社でも行えます。

竣工祭

工事の完成をお祝いします。

神棚奉斎

自宅の神棚にて祈祷いたします。

結婚式

森の中の厳肅な式です。

良縁祈願

(縁結び 祈願)

学業成就

(合格祈願)

交通安全

(お車のお祝い)

家内安全

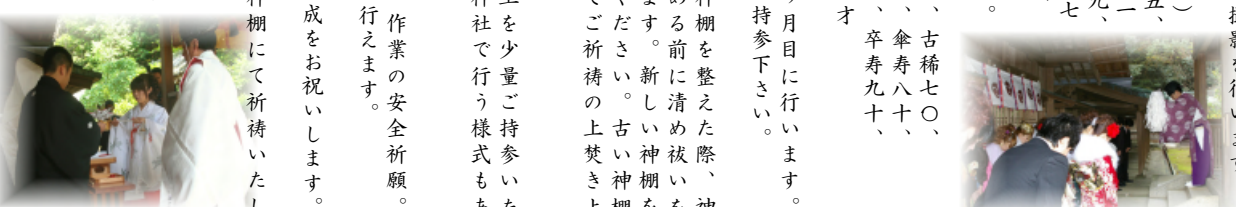
身体健康

病氣平癒

商売繁盛

心願成就

清め祓い



一、お札のお祀り

横に並べてまつる場合



重ねてまつる場合



- 一、天照皇大神宮 (伊勢神宮のお札)
- 二、氏神神社 (田殿丹生神社のお札)
- 三、崇敬神社 (祈願をしている神社のお札)

お神札は、南か東に向くようにおまつりするのが一般的ですが、間取りによっては、おまつりにふさわしい明るく清らかな場所であれば良いでしょう。また、神棚のない家庭では、神棚が整うまではタンスや書棚の上に白い紙を敷きおまつりください。お札は毎年お正月に神社より頒布されます。古いお札やお守りは、神社に納めて下さい。当社では、一月十五日の古神札焚き上げ式の際、ご祈祷の上、焚き上げます。

心願が成就した場合には、お礼参りをいたします。ご祈祷のお申し込み、神事のお問い合わせ

田殿丹生神社
有田郡有田川町出三三五番地
TEL・FAX
〇七三七(五二)二三一七

HP
<http://www.tb.biglobe.ne.jp/~tadononyujinrya/>



元旦



成人奉告祭(成人式)



戦没者慰霊招魂祭



輪越し 大祓式



秋祭り 例祭



粥占い神事



春祭り 餅投げ



夏祭り 花火大会



秋祭り 子ども御輿渡御

